

裁判員経験者の意見交換会

を開催しました

令和4年12月23日
横浜地方裁判所にて開催

裁判員として裁判員裁判に参加された20代の方をお招きし、法曹三者との意見交換会を開催しました。
今回は、高校生にこの様子を見学していただきました。

参加者

裁判官 3名 検察官 2名 弁護士 2名

裁判員経験者① (20代 学生※)

裁判員経験者② (20代 会社員※) ※裁判員当時

◆見学者 高校生 (17名)

令和5年から
18歳・19歳の方も
裁判員になることが
できるようになったニャ!



意見交換の様子を紹介します

お仕事や授業との調整で苦労された点はありますか。

経験者

- 定期試験や課題の提出と日程が重なり、調整が大変でした。
- 仕事の繁忙期と日程が重なっており、上司に言い出しにくくはありましたが、相談したところ快くお休みをもらえました。

公判の内容は分かりやすかったですか。

経験者

- 裁判官から事前にどのような争いがあるかを教えてもらってから公判に臨めたので、分かりやすかったです。
- 口頭だけだと難しいですが、検察官や弁護人の資料が分かりやすく作られていたので、経験のない自分でもどこが争われているのか分かりました。

分かりやすい審理のために検察官や弁護人が工夫していることはありますか。

検察官

法律論に入った形で事件を紹介するよりも、どんな事件なのかという具体的事実をしっかり立証することで、検察官の主張を理解していただくことが重要だと考えています。

弁護士

資料は、後で見たときにも分かりやすいように、カラーやレイアウトに気を遣って作っています。弁護人として何を伝えたいのか、どういうストーリーを伝えたいかということを知ってもらえるように工夫しています。

評議では自分の意見は言えましたか。

経験者

裁判官が意見を聴いてくれるので、そのときまでに考えをまとめて言うようにしていました。自分から言うのは難しかったですが、言いやすい雰囲気でした。

裁判官は、話しやすい雰囲気をどのように作っていますか。

裁判官

・口数の少ない方に対しては、目線を合わせたり、言いやすいトピックのときに発言をお願いするようにしています。

・意見を言いにくい方がいるような場合は、心の準備のために、「順番に聞きます」と言って、いつ発言するかを分かるようにしてプレッシャーを減らそうとしています。休憩時間に話をして気持ちを和らげるようにすることもあります。

参加の前後で刑事裁判に対する印象に変化はありましたか。

経験者

・情状酌量や疑わしきは被告人の利益になど、経験する前は建前にすぎないと思っていましたが、きちんと裁判員の意見を聴いた上で被告人のことを考えながら評議を行っていて、印象が変わりました。

・判決は話し合いをして決めていることを知ったり、実際に裁判員の席から裁判が行われている法廷の景色を見たりして、裁判の成り立ちを知ることができました。

高校生が裁判員に選ばれた際に、どんな点が大変になると考えられますか。

経験者

・18歳や19歳は、受験やスポーツの大会など人生をかけた勝負の場になる方もいると思うので、そのタイミングで選ばれると心の迷いが生じて大変になってくるのかなと思います。

・人生経験が少ないので、深みのある意見が言えるか不安になることもあると思います。ただ、裁判官が配慮してくれるので、若い世代でもどんどん意見は言えると思います。

若い世代の方々が刑事裁判に参加することについて、どう思いますか。

経験者

・とても有意義なことだと思います。自分が他人の人生を左右するという責任をもって、自分の信念に基づいて行動、発言できるようにしておかないといけないのかなと思います。

・経験できる人の方が少ないので、都合がつくのであれば経験した方がいいと思います。

見学した高校生から質問をいただきました



高校生

裁判を通して事件を見ることで、嫌な記憶が残る人がいると聞いたことがあるのですが、実際はどうでしたか。

・画像は出てきましたが、傷口などはモノクロにされていて、トラウマになるようなものではありませんでした。ただ、裁判の結論については、現在でも、これでよかったのかなと考えることはあります。

・私の場合は絵でしたが、想像してちょっと気持ちが沈むことはありました。トラウマと考えるほどではなかったです。



経験者



高校生

経験や知識が足りなくて私の主張が負けてしまうのではないかと思うのですが、若い人にしかできないとか、若い人に求められる役割はありますか。

・被告人と年齢が一番近くて、近い年代だからこそ通じ合える点はあったかと思います。

・若いなりに考えることがあるので、上の世代の方が考えていなさそうなところを考えて発言したりしました。



経験者

・色々な世代の多様な意見を裁判に取り入れられるように、年齢層が広がったので、世代間で考えが違うことになったら、ぜひ意見を聴かせてほしいです。

・若い皆さんが精いっぱい考えた意見を言っていただくことで議論が活性化するので、臆することなく積極的に発言していただきたいです。



裁判官

高校生に感想をお聞きしました

裁判員経験者の意見交換会について

- ・裁判員経験者の方と初めてお話しできて不安が軽くなった。
- ・裁判員経験者の方の“生の意見”を聞くことができ、とても充実した時間だった。裁判員になることへの不安が少し解消された。

もし選ばれたら

- ・貴重な人生経験になりそうだからやってみたい。
- ・社会の一員として司法について深く考える貴重な体験になると思う。
- ・積極的に発言したり意見したりすることに苦手意識があるので、自分には向いていないと思っていたが、意見交換会を見学して、挑戦してみたいと思った。

高校生には模擬裁判・模擬評議を通して裁判員の体験もしていただきました